

学長メッセージ（令和2年12月10日）

学生の皆さん

全国で新型コロナウイルスの感染者が増加傾向を示しています。庄内地域ではこれまで感染者が少なく、大学としても感染者を出さないための対策を中心に行ってきました。しかし、11月下旬より庄内地域でも感染者が増加しており、「誰がいつ感染してもおかしくない」という状況下で対応することが求められています。

大学生活は授業だけで構成されるのではなく、学生同士の交流や課外活動等の諸活動も重要な位置を占めています。授業のみであればオンラインでの実施も考えられますが、大学のキャンパスが持つ上記の多様な機能に鑑みると、皆さんが安心してキャンパスを訪れることができる環境を整備することも重要です。

全国の大学では、学生の皆さんの安全と教育の機会を保障するために、それぞれの地域や実情に応じた感染予防対策を行い、キャンパスへの登校を可能な限り認めています。庄内地域に位置する本学においても、今後ウィズ・コロナの視点での対策をこれまで以上に強化していく必要がありますが、新たに下記の対策を講じるなど、万全の対策を施した上で、皆さんが学内で学ぶことができる体制を整えていきます。

しかし、万全の対策を施していくためには、みなさん一人ひとりの自覚と協力が必要になってきます。今年度は春学期から自粛や節制が求められてきましたが、学生の皆さんが生命や健康を守ることを最も重視して行動されたことを、大変誇らしく思います。ウィズ・コロナの時期は長期にわたる可能性があります。引き続きよりよい学修環境の維持のため、皆さんのご協力をお願いします。

東北公益文科大学学長

記

オンライン授業は11日（金）まで延長し、下記の対策を講じたうえで、14日（月）から対面型授業を再開します。

(1) 非接触型体温検温装置の設置

引き続き「体調チェック表」に記入し、授業前に提出していただきますが、教育研究棟の入口でも検温し、体温が一定以上の場合は教育研究棟に入らず、教務学生課で体調の確認を受けていただきます。

(2) 換気時刻を周知する全館放送の実施

授業時間中に2回の換気を行うため、合図の放送を流します。外気を入れますので、温かい服装で通学してください。

(3) カフェテリア・テーブルへの対面仕切りの設置

通常の半分の席数とし、テーブル中央に仕切りを設けます。決められた席以外は利用しないでください。